

令和元年度大阪府立障がい者交流促進センター指定管理者評価票

※令和元年11月末時点の数値

評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設管理者の評価		評価委員会の指摘・提言																																																	
		評価 S~C		評価 S~C																																																		
5-1 施設機能の 発揮 (大会 関係)	<p>(1) 以下の障がい者スポーツ大会関係業務が適切に行われているか。</p> <p>① 大阪府障がい者スポーツ大会 その他大会(団体競技予選会などの地域レベルのものを含む。)の開催及びその支援に関する業務</p> <p>② 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣及びその支援に関する業務</p> <p>(ア) ①及び②の大会及びそれ以外の各種競技会(全国規模のものや府内当事者団体の開催するものを含む。以下、「大会等」という。)の開催趣旨や記録などを参考とした競技性や競技力の向上などを目的としたプログラムの実施のほか、大会等に係る参加者等の強化練習の実施及びその支援に関する業務</p> <p>(イ) 大会等のPRや民間企業からの資金獲得のほか、同大会の結果に係るPRに関する業務が適切に行われているか。</p>	<p>1 施設機能の発揮 (大会関係)</p> <p>(1) 大会関係業務</p> <p>①大阪府障がい者スポーツ大会の開催 開催日： 2019. 5. 12~2019. 6. 1 参加者：903名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>904</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>916</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>895</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>889</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>903</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 全国障害者スポーツ大会へ大阪府選手団の派遣 (台風19号の影響により大会中止のため派遣中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表選手・チームの強化練習会の開催 合計：36回 720名参加 (個人競技6競技、団体競技1競技) <p>③①②以外の大会及びそれ以外の各種競技会</p> <p>○ファインプラザ大阪主催・共催の大会・記録会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上記録会 開催日：2019. 4 参加者数：62名 定員50名 近畿障がい者フライングディスク大会 開催日：2019. 4 参加者数：144名 定員100名 バリアフリーアーチェリー大会 開催日：2019. 10 参加者数：91名 定員60名 イーグルス大阪バリアフリーバドミントン大会 開催日：2019. 4 参加者数：55名 定員60名 近畿身体障害者水泳選手権大会 開催日：2019. 6 	年度	参加者数	2015	904	2016	916	2017	895	2018	889	2019	903	S	<p>(1)</p> <p>① 大阪府障がい者スポーツ大会その他大会の開催及びその支援に関する業務について、大阪府障がい者スポーツ大会を開催し、903名(前年度比+14名。)の参加者を得るとともに、ファインプラザ大阪主催等大会を8回実施し、計画(550名)を大きく上回る合計762名の参加者を得ている。</p> <p>② 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣及びその支援に関する業務について、大会派遣に向けた強化練習会を合計36回開催し、のべ720名の参加を得ている。しかしながら、大会は台風の影響で中止となり、代替措置は取られていない。</p> <p>(ア) 上記大会の他、アスリート強化練習会や幅広い障害種別や年齢層に対応したプログラムを実施し、11月末時点で多くの大会及びプログラム等で計画を上回っている。</p> <p>(イ) 大会等のPRや民間企業からの資金獲得のほか、同大会の結果に係るPRに関する業務について、大会実施要項やポスターの送付行っている。また、別添資料「大会協賛・広告依頼一覧」のとおり、民間企業から資金を得ており、新規の協力者(3者)の確保もした。</p> <p>以上のことから、障がい者スポーツ大会関係業務が適切に行われていると判断される。</p> <p>※障がい者スポーツ大会参加人数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13歳～</td> <td>184</td> <td>190</td> <td>178</td> <td>179</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>20歳～</td> <td>207</td> <td>221</td> <td>211</td> <td>200</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>30歳～</td> <td>156</td> <td>151</td> <td>147</td> <td>156</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>40歳～</td> <td>123</td> <td>111</td> <td>122</td> <td>123</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>50歳～</td> <td>62</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>	年度	27	28	29	30	元	13歳～	184	190	178	179	202	20歳～	207	221	211	200	187	30歳～	156	151	147	156	159	40歳～	123	111	122	123	127	50歳～	62	70	80	90	79	S	<p>【府大会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申込み方法の見直し(学校単位での申込みを可能とする等)により、参加者(特に若年層)が増加した点は、高く評価できる。 <p>【府大会や施設で実施する大会の充実等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会が充実すれば、利用者数も充実するという好循環が生まれる。大会充実に向けて、計画的な寄付等獲得も重要。
年度	参加者数																																																					
2015	904																																																					
2016	916																																																					
2017	895																																																					
2018	889																																																					
2019	903																																																					
年度	27	28	29	30	元																																																	
13歳～	184	190	178	179	202																																																	
20歳～	207	221	211	200	187																																																	
30歳～	156	151	147	156	159																																																	
40歳～	123	111	122	123	127																																																	
50歳～	62	70	80	90	79																																																	

		<p>参加者数：318名 定員 200名</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪飛遊クラブフライングディスク大会 開催日：2019.9 参加者数：92名 定員 80名 大阪車いすハンドボール大会 開催日：2019.11 参加者数：108名 定員 72名 大阪ボッチャ大会 開催日：2019.11 参加者数：168名 定員 120名 その他大会・記録会 バドミントン大会 12月開催予定、 卓球大会、STT大会 2月開催予定 水泳記録会 3月開催予定 ○アスリート強化練習会 陸上 開催回数：4/6回 参加者数：144名 定員 1回 30名 水泳 開催回数：4/6回 参加者数：16名 定員 1回 20名 卓球 開催回数：4/6回 参加者数：29名 定員 1回 20名 サウンドテーブルテニス 開催回数：4/6回 参加者数：38名 定員 1回 10名 アーチェリー 開催回数：4/6回 参加者数：28名 定員 1回 10名 フライングディスク 開催回数：4/6回 参加者数：66名 定員 1回 30名 ボッチャ 開催回数：3/6回 参加者数：23名 定員 1回 10名 競泳選手コース（中級） 開催回数：50/75回 参加者数：207名 定員 1回 15名 競泳選手コース（上級） 開催回数：50/75回 参加者数：226名 定員 1回 5名 ○選手育成事業 (障がい児水泳教室) ユース水泳コース 開催回数：76/120回 参加者数：483名 定員 1回 10名 		<table border="1"> <tr> <td>60歳～</td> <td>84</td> <td>84</td> <td>78</td> <td>71</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>70歳～</td> <td>77</td> <td>79</td> <td>70</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>80歳～</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>904</td> <td>916</td> <td>895</td> <td>889</td> <td>903</td> </tr> </table> <p>※参加資格(年齢):大会年4月1日現在13歳以上の者。</p>	60歳～	84	84	78	71	73	70歳～	77	79	70	59	60	80歳～	11	10	9	11	16	計	904	916	895	889	903	
60歳～	84	84	78	71	73																								
70歳～	77	79	70	59	60																								
80歳～	11	10	9	11	16																								
計	904	916	895	889	903																								

		<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア水泳コース 開催回数：76/120回 参加者数：1,494名 定員1回10名・20名 ・キッズ水泳コース 開催回数：38/60回 参加者数：476名 定員1回10名・20名 (選手育成練習会) ・陸上 開催回数：7/11回 参加者数：398名 定員1回40名 ・視覚障がい者マラソン 開催回数：7/11回 参加者数：4名 定員1回5名 ・水泳Ⅰ・Ⅱ部 開催回数：14/22回 参加者数：238名 定員1回20名・30名 ・卓球Ⅰ・Ⅱ部 開催回数：14/22回 参加者数：512名 定員1回30名 ・サウンドテーブルテニス 開催回数：7/11回 参加者数：146名 定員1回10名 ・アーチェリーⅠ・Ⅱ部 開催回数：14/16回 参加者数：222名 定員1回10名・15名 ・フライングディスク 開催回数：7/11回 参加者数：432名 定員1回40名 ・車いすハンドボールⅠ・Ⅱ部 開催回数：14/22回 参加者数：138名 定員1回20名 ・ボッチャ 開催回数：7/11回 参加者数：232名 定員1回30名 ・車いすバスケットボール 開催回数：7/11回 参加者数：102人 定員1回20名 ・シッティングバレー 開催回数：4/6回 参加者数：15名 定員1回20名 ・精神障がい者ソフトバレーボール講習会 開催回数：7/11回 参加者数：94名 定員1回20名 <p>⑤大阪府障がい者スポーツ大会等のPR及び民間企業からの資金獲得</p> <p>○PR活動の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施要綱及び募集ポスターの送付 前年度 659 から今年度 1090 か所 			
--	--	---	--	--	--

		<p>※別添「第19回大阪府障がい者スポーツ大会実施要綱」参照</p> <p>○民間企業からの資金獲得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協賛金、協賛物品、広告料等の獲得 <p>※別添「第19回大阪府障がい者スポーツ大会協賛・広告依頼一覧」参照)</p>				
5-2 施設機能の 発揮（コン テンツ）	<p>(1) 以下の障がい者スポーツの相談等に関する業務が適切に行われているか。</p> <p>① 障がい者のレベルに応じたトレーニング等の支援(スポーツ経験のない障がい者を対象としたスポーツを体験するためのプログラム等を含む。)の実施に関する業務</p> <p>② 障がい者スポーツ指導員養成講習会など障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成、登録、派遣に関する業務</p> <p>③ 障がい者スポーツ指導員(中級以上)、理学療法士、ケースワーカー等の適切な資格を保有する相談員による相談業務</p>	<p>1 施設機能の発揮(コンテンツ)</p> <p>(1) 障がい者スポーツの相談等に関する業務</p> <p>①障がい者のレベルに応じたトレーニング等の支援</p> <p>○チャレンジスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハスポーツ 開催回数:24/36回 参加者数:688名 定員1回20名 ・重度障がい者個別水泳指導 開催回数:165/252回 参加者数:182名 定員1回1名 ・わくわくダンス 開催回数:4回 参加者数:59名 ・ファインプログラム(レクリエーション・ダンス・マット運動) 開催回数:32/48回 参加者数:465名 定員1回20名 <p>○大学連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪体育大学体育実技研究部障がい者スポーツ研修会 開催回数:1回 参加者数:6名 ・ふれあい乗馬体験講習会 開催回数:2回 参加者数:65名 ・関西福祉科学大学 (大会等運営補助) 開催回数:2回 参加者数:4名 (車いすテニス講習会 12月2回予定) ・桃山学院教育大学 新規予定 (大会補助員) 開催回数:複数回 ・森ノ宮医療大学予定 (1/12 イベント補助) 開催回数:1回 参加者数:4名 新規予定 <p>○障がい者スポーツ普及事業</p> <p>②障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成等に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 	S	<p>(1)</p> <p>① 障がい者のレベルに応じたトレーニングの支援として、各種プログラムを実施し、定員を上回る参加者を得ているものもあるほか、大学との連携事業については、新たな取組みも展開した。</p> <p>② 障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成等に関する業務について、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会における31名の中級障がい者スポーツ指導員の養成等をおこなっている。</p> <p>③障がい者スポーツ指導員や理学療法士等の適切な資格を保有する相談員による相談業務は、いずれも11月末時点で概ね提案どおり実施している。</p> <p>以上のことから、概ね障がい者スポーツの相談等に関する業務は適切に行われていると判断される。</p>	A	<p>・特段の指摘・提案なし。</p>

		<p>開催回数：2回 開催日：8/17～25 11/9～11/17 (4日間) 定員：31名 申込み者：31名 受講者：31名 修了者：31名 ※中級障がい者スポーツ指導員登録者数 298名(大阪府、R1.6.30現在) 「第4次大阪府障がい者計画」数値目標 (令和2年度) 300人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府教員対象 障がい者スポーツ体験講習会 開催回数：2回 参加者数：40名 定員60名 ・地域展開事業、出前事業 開催回数：90回 参加者数：8,307名 ・ピア指導員によるスポーツ指導 開催回数：41回 参加者数：186名 定員1回10名 ・パラリンピアン講習会 開催回数：2回 参加者数：686名 ・各種スポーツサポーター講習会 開催回数：39/66回 参加者数：55名 定員各10名 ・ボランティアガイダンス 開催回数： 8/12回 参加者数：7名 定員各10名 <p>(2) 障がい者スポーツ指導員等資格を保有する相談員による相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の生活相談 開催回数：16/24回 参加者数：9名 定員各1名 ・健康運動指導士の健康相談 開催回数：53/48回 参加者数：42名 定員各1名 ・障がい者スポーツ指導員のスポーツ相談 開催回数：35/48回 参加者数：10名 定員各1名 			
5-3 施設機能の 発揮(地域)	<p>(1) 以下の府内障がい者スポーツ活動の広域的支援業務が適切に行われているか。</p> <p>① 府立支援学校のほか、障がい者スポーツに係る様々な団体や地域の障がい者サービス事業</p>	<p>1 施設機能の発揮(地域)</p> <p>(1) 障がい者スポーツ活動の広域的支援業務</p> <p>① 府立支援学校・障がい者団体等へ連携、支援 支援学校・支援学級：開催回数27回 参加者：351名 ※「支援学校・支援学級スポーツ支援」参照</p>		<p>(1)</p> <p>① 府立支援学校のほか、障がい者スポーツに係る様々な団体や地域の障がい者サービス事業等との連携やこれらへの支援に関する業務について、地域へ出向いて障がい者スポーツを指導する出前事業を実施しており、府立支援学校等との連携、支援は27</p>	<p>【利用者数の推移について(再掲)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数には、出張型支援の利用者も含まれていることを踏まえると、今後、さらに出張型支援の利用者を拡大していくことが望まれる。その際、施設設置の趣旨・目的に照らせば、障がいのない利用

	<p>所等との連携やこれらへの支援(パラリンピアン等や障がい者スポーツ指導員等の派遣、事業の共同実施やネットワーク化のほか、トレーニング方法や競技の普及手法の開発など)に関する業務</p> <p>② 施設機能の発揮に係る事業を円滑に実施するためのパラリンピアン等のトップ障がい者アスリート(団体やチームを含む。以下「パラリンピアン等」という。)の支援や招聘その他連携に関する業務</p> <p>③ 提案者の自主提案事業</p>	<p>障がい者団体等：開催回数 29 回 参加者：3,486 名</p> <p>②地域展開事業、出前事業（障がい者団体等については上記に記載）</p> <p>開催回数：41 回 参加者数：4,523 名 (内訳) 小学校 18 回、中学校 14 回、 高等学校 7 回、大学 2 回、</p> <p>・府教員対象障がい者スポーツ体験講習会 開催回数：2/2 回 参加者数：40 名 定員各 30 名</p> <p>③パラリンピアン等のアスリートの支援や招聘</p> <p>・パラリンピアン講演会 開催回数：2 回 参加者数：686 名</p> <p>④自主事業</p> <p>・ゆったりヨガ 開催回数：54/80 回 参加者数：2,187 名 定員各 40 名</p>	A	<p>回、障がい者団体への支援は 29 回を実施している。</p> <p>② パラリンピアン等のトップ障がい者アスリートの支援や招聘その他連携に関する業務について、パラリンピアン講習会を 2 回実施している。</p> <p>③ 自主事業については、提案どおり実施している。</p> <p>以上のことから、概ね府内障がい者スポーツ活動の広域的支援業務が適切に行われていると判断できる。</p>	A	<p>者よりも、障がいのある利用者を増やしていくための取り組みに注力していくことが重要。</p> <p>・来館者確保も重要だが、出張型支援の利用者を増やしていくことがより重要であり、今後、利用者数推移に関しては、この点を中心に評価すべき。</p> <p>・よって、利用者数に関しては、障がいの有無の別のみならず、来館か出張型支援かについても分類して明示すべき。</p>
6 府施策との整合	<p>(1) 以下の指定管理者として果たすべき責務を遵守しているか。</p> <p>① 府が実施する事業への協力（府事業に係るファインプラザ大阪使用への協力を含む。）</p> <p>② 知的障がい者の継続雇用の取組み</p> <p>③ 省エネ法に基づくエネルギー管理の実施に伴う対応</p>	<p>1 府施策との整合性</p> <p>(1) 指定管理者として果たすべき責務</p> <p>① 府が実施する事業への協力</p> <p>・(財)大阪府身体障害者福祉協会事業への協力</p> <p>・(社福)大阪府肢体不自由者協会事業への協力</p> <p>・(財)大阪府視覚障害者福祉協会事業への協力</p> <p>・(公社)大阪聴力障害者協会事業への協力</p> <p>② 知的障害者の継続雇用の取組み</p> <p>・現従事者が継続雇用を希望したので、引き続き雇用されるよう委託先と協議し、継続雇用を実現</p> <p>※雇用率</p> <p>(福)大阪府障害者自立支援協会 7.23 %</p> <p>(公財)フィットネス 21 事業団 3.18%</p> <p>③ 省エネの取組み</p> <p>・電気、水、化石燃料等の使用量の低減化の取組み</p> <p>・関西エコオフィス宣言にそって、冷暖房期間、温度を適切に設定</p> <p>府が実施する事業等に積極的に協力することにより、府施策との整合性を図った。</p>	A	<p>(1)</p> <p>①府が実施する業務への協力について、障がい者団体の事業への講師派遣などの協力を行っている。</p> <p>② 知的障がい者の継続雇用の取組みについて、知的障がい者清掃員は、引き続き雇用。障がい者法定雇用率は、それぞれクリアしている。</p> <p>③ 省エネ法に基づくエネルギー管理の実施に伴う対応について、関西エコオフィス宣言にそって、冷暖房期間、温度を適切に設定するなどの対応を行っている。</p> <p>以上のことから、概ね指定管理者として果たすべき責務を遵守していると判断される。</p>	A	<p>・特段の指摘・提案なし。</p>